

◆ はじめに

滋賀県では、県教育振興基本計画において「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」を掲げ、「学校支援地域本部事業」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援」の三事業に従来より取り組んでまいりました。今年度も各市町においてこれらの事業を推進していただいたところであり、本事例報告書は今年度の各市町の取組みを報告させていただくものです。

これらの事業は、複雑化する社会状況の中で、学校だけに子どもの育ちを任せるのではなく、学校、家庭、地域が一体となって連携協力し、子どもの育ちを支えるという視点の下、始まったものであり、各市町における本事業での取組や、各種公民館等での講座などを通じて、そのような地域ぐるみで子どもを支える体制が整ってきているものと承知しております。

しかし一方で、今年度はいじめや体罰など、子どもの育ちを根底から否定するような事案が社会問題化した年でもあります。これらが学校で起きたこととはいえ、社会教育に携わる者には、子どもの育ちを学校に任せきりにしていなかったか、何故地域の力で事前に防げなかったのかということを実際に考えていただければと思います。

その上で、今一度、社会全体で子どもの育ちを支えるとの視点の下、本事業や各種事業に取り組んでいただければと思います。

また、これらの事業については、学校を支援するという視点が先行しているところですが、学校を中心として地域の力を結集し、地域を変えていく、活性化していくという地域づくりの効果も期待されるところであります。

既にこれらの事業を推進してきている市町においては、このような視点ももちながら、引き続きこれらの事業に取り組んでいただければと思います。また、学校・家庭・地域の連携体制の構築が十分にできていない市町におかれましては、本事例報告書も参考の上、学校・家庭・地域の連携体制の構築に努めていただければ幸いです。

最後になりましたが、本事業を含め、「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」に、平素より実際に子どもたちと関わっていただき、地域において献身的なお取組をいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きの御支援をお願い申し上げます。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報の提供や原稿をお寄せいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

平成25年（2013年）3月

滋賀県教育委員会事務局

生涯学習課長 北野 允